

権力に従わぬ勇気

- 問題提起
  - 政府の奴隷制の容認
  - メキシコとの戦争
  - ⇒ 多くの市民が何も言わずに従っている
- 個人が正しいと思う行動 — 法律や政府よりも大切
- 市民の責任 — 不正に対して自分の立場を明確に示す



少数派と良心の声

- 多数決で決まったこと — 「正しい」とは限らない
- 民主主義の制度 — 多数派が少数派の自由を奪うリスク
- 自分自身の判断



- 少数派であっても声を上げるべき
- 「これはおかしい」と言える勇気

非協力という行動

- 後世に与えた影響
  - ガンディー、キング牧師
  - 非暴力運動
- 沈黙の協力
  - 不正義を支えることになる
  - 何もしない ⇒悪い制度の存続に
  - 「参加しない」抵抗

